

りんごの森

2022

12

No.485

Follow me!



Instagram
はじめました!!

特集1

持続可能なリンゴ栽培を考える
～リンゴ生産の現状と方向とは～

特集2 年金友の会

「相幸会」冬の集い

持続可能なリンゴ栽培を考える

リンゴ生産の現状と方向とは

●雇用労働力の変化

平成元年以降、高齢化による担い手不足を背景に、本県のリンゴ栽培面積は減少に転じている。リンゴ栽培は摘果、着色管理、収穫などの作業時期に人手が必要となるため、人員不足を雇用労働に頼っているのが現状で、労働力が確保できない場合、そのまま栽培面積の減少へとつながっている。

しかしながら、近年は農業分野でも最先端技術の導入が進んでおり、補助労働力の確保対策には、スマートフォンを活用した1日農業ハイトアプリ「day work」の利用者が急増している。若い世代を中心に浸透しつつあるこの1日農業ハイトは、求職者に必ずしもリンゴ作業経験を求めている。そ

の上、好きな日時を選択し、農家側と条件が合えば雇用が成立するものだ。そのため、今までにないほどの高いマッチング率を叩き出している。人手不足を解消させる、今後の有効的な手段といえる。

このアプリが普及したことで、農家側も雇用に対する意識が徐々に変化してきた。熟練した作業員が高齢化し、継続して雇用することが難しくなっている現在、経験のある人を継続的に雇用するスタイルから、初心者育てながら、必要な時期に雇用を目指すスタイルへ意識が変化してきている。熟練した雇用者よりも、必要な時期に一人でも多く雇用できることで、今後の労働力不足解消に結びつくのではないだろうか。

生産性向上の観点からは、良食味で高品質なリンゴ生産を基本としながらも、省力樹形や農業機械の導入による省力・軽労化も必要だ。急傾斜地から平場へ移行していることから、自動草刈機なども将来的に効果的であろう。

当JAでは、令和3年3月以降、リンゴの取扱いについても見直しを行っている。

本年のうちに、リンゴの花が多い年や、例年よりも多くの労力を

必要であることが予想される場合、予め対策を立てることが肝心となる。

剪定時期から受光態勢等を考慮した樹形を目指し、昨年打ち出した「簡易栽培サンふじ」等の活用も視野に入りたい。農家の収量維持と産地の生産量維持へと繋がっていくはずだ。

近年、リンゴの値段が高止まり傾向で推移している今、もう一度私たちはリンゴ経営について見直



近年の課題を解消する取組みをまとめた冊子
(令和3年3月発行)

しを図り、所得増大に向けて、労働力事情を生産面と併せながら考え直してみたい。

●品種の動き

主力品種である「ふじ」が不動の地位を築き上げている一方、近年はシナノゴールドやトキ、名月などの黄色品種への関心が高まっている。前段にもあるように、これは労働力不足を背景に、つくりやすさという点が一番の理由だろう。

増加傾向にある黄色品種については、未熟果出荷による消費者離れや、大幅な数量増加で価格が暴落することに気を付けなければならぬ。さらに、作業面でも晩生種の収穫に遅れがでないよう注意したい。

本県の強みである周年供給体制の維持を見据え、販売戦略を考慮したリンゴ生産を進めていくことも必要だ。11月下旬から始まる贈答シーズンに対応できるような品種構成割合を、産地一体となって見直すことが大切であり、それはJAの選果施設における人員確保にもつながってくる。計画的な出

荷でより高い精算ができるよう、生産から販売まで一体となって「持続可能なリンゴ栽培」を考え、飛馬ブランドが維持できれば最高の形ではないだろうか。

●対策のポイント

高品質リンゴの安定生産のため、樹勢に応じた適正着果量の確保が重要である。早期適正着果や見直し摘果、樹上選果の徹底により果実品質の向上を図っていくためには、やはり摘花及び摘果剤の導入も選択肢となってくる。

結実量確保の観点からは、近年、ふじの開花率がほぼ同じ数字で推

移していることに対し、中心果結実率は大幅に下がっている。これは、摘果の際に、素質の良い中心果を選ばなくなっていることを示している。温暖化などの影響により、気象条件に対応したリンゴ栽培が今まで以上に求められてくる中で、人工授粉などの交配作業を少しでも多く実施できれば充実した中心果の確保にも繋がるのではないだろうか。

さらに、雇用の観点からも、授粉の時期から人手を確保して取り組むことで、後半の人手不足解消にも繋がり、その年の継続的な雇用を生むのかもしれない。



本年産の着色課題を念頭に、せん定作業を進めることが重要

葉摘み等の着色手入れについては多くの労力が必要とし、過度な葉摘みは着色や糖度、蜜入りなどの品質にも悪影

響を及ぼす。着色管理は、剪定による樹形の改善や支柱入れ、徒長枝整理などの受光態勢を整えることを基本とし、葉摘みは適量にとどめることが求められている。これらを考慮すると、これから始まる剪定は、本年を振り返りながら作業を進めていくことが重要であり、「持続可能なリンゴ栽培」に向けては剪定期から計画的に実施することが大事である。

「良品多収」を目標とすることが所得向上の第一歩ではあるものの、品種や雇用の有無など、経営状況に応じたプラン作りが所得向上の近道となる。

当JAにおいては、推奨する着色優良系統の苗木代に、一部助成して着色管理の軽労化を進めていることから、個々の経営に合わせて「つがる」や「ふじ」の改植更新を考えてみるのも一つではないだろうか。

労働力の軽労化とJAへのリンゴ入庫数量確保に向けて、今後時代にも合った栽培プランの提供に努めていきたい。

(参考：りんご栽培指導要項)

友の会 冬の集い



の開催！

きてよかった」との感想も



JAに開催のお礼を伝える大澤昭夫会長



11月26日、長慶閣にて3年ぶりの年金友の会が開催された。冒頭、大澤昭夫会長は挨拶で、「コロナ禍で企画も大変だったかと思うとしながらも、集いを開催したことに對し「厚くお礼を申し上げます」と挨拶し、参加者の長生きを願った。

その後、大場組合長からの挨拶で「つい先日、母を亡くしたが、存在がなくなつた寂しさと、日々家庭の中で担つてくれていた仕事を、今になって思う」とし、寒い季節への注意を促すと、「本日も越しの皆様、いつまでもお元気にされ、次回、また次回と、年金友の会もお楽しみ下されば」と強調した。



一生懸命なお遊戯を見せてくれた相馬こども園年中児

金融課一同、みなさまが更に利用しやすい窓口を目指します



年金 「相幸会」

津軽関山会の演目、生歌のパワーは圧巻！



3年ぶり

参加者約60名 「長生きで

余興では、相馬こども園年中児8名によるお遊戯・津軽関山会による民謡と手踊り・東部一輪車クラブによる演技があり、参加者は笑顔になったり拍手をしたりしながら大いに楽しんだ。

最後に鎌田哲哉金融課長は「これから皆様にご利用いただけるよう、励んでいきます。これからも宜しくお願ひします」と職員を紹介して締めくくり、職員一同で折り弁当を渡しながら参加者一人一人に感謝を伝えながら見送った。

参加者は、「ありがたう、楽しかった」「長生きできてよかった」と語っていた。

一輪車演技の迫りに拍手で感動を伝える参加者



東部一輪車クラブの揃った演技



果実販売動向

販売課 田中瑠偉



平素、JA相馬村フルーツステーションをご利用いただき誠にありがとうございました。ありがとうございます。

令和4年産の入庫数量は、隔年結果と凍霜害の影響により少なかった昨年産と比較して、約1増となりました。

11月の果実動向

ミカンについては、早生種中心の入荷となるなか、四国・九州地区を中心に大玉傾向・着果量不足から入荷数量が少ないものの、和歌山県産を中心に入荷数量は増加しました。全体的には流通量が多くないことから、堅調な価格推移となりました。

柿については、潤沢な入荷から始まり、終盤を迎えた現在は入荷量が減少傾向であるものの、平年に比べ流通量が多く、売場拡大が進んだものの、末端の荷動きは鈍く下げ基調の厳しい販売となりました。リンゴについては、前半は本県産の早生ふじ・シナノスイート等

の中生種が終盤を迎え、他県産のサンふじの入荷が開始となりました。他県産のサンふじの流通量が多くないことから堅調な価格推移となりました。一方で本県産の中生種は売場が縮小されていることから弱含みの推移となりました。

後半については本県産のサンふじの入荷が本格的に開始となり、上位等級品に関しては入荷量の少なさから引き合いの強い状況となったものの、値ごろな中生種の在庫を抱えていることと他県産のサンふじに比べ売価が高いことから荷動きは鈍い状況となりました。

今後については、本年は春節が例年に比べ非常に早いことから、海外向けの選果荷造り作業とギフト向けの選果荷造り作業が同時にピークを迎えます。そのため、国内向けの流通量が抑制され、引き続き上位等級品は売価が高い状況が続く、他県産のサンふじの低位等級品の入荷が増加する見込みから、荷動きの鈍化による下げ基調

の展開となる見通しです。

当農協では全国的な資材価格の高騰など、選果荷造り作業にかかるコストが上昇していることから、ギフト・宅配向けの販売価格の大幅な見直しを行いました。そのため、例年に比べ注文数の大幅な減少が見込まれておりましたが、現段階では例年に引けを取らない注文数を頂いております。価格が高くなったにも関わらず、当農協の飛馬りんごをご注文していただいたお客様のため、また、皆様が手塩をかけて栽培した飛馬りんごのブランド力をより発信していくためにも、引き続きまごころを込めて選果荷造り作業を進めて参ります。今後とも当農協のご利用の程、よろしくお願いたします。



贈答用も含め選果が進む晩生種

全農あおもりデータ（11月末累計）

品 種	サンつがる	早生ふじ	ト キ	きおう	王 林	サンジョナ	サンふじ	その他	合 計
単 価 (円)	2,474	2,938	2,644	2,653	3,060	3,059	4,159	2,860	2,726
前 年 比 (%)	91	87	102	99	90	90	98	95	90
数量 (箱/10kg)	885,365	797,626	277,215	156,133	3,585	20,672	16,694	269,712	2,426,451
前 年 比 (%)	104	111	107	112	17	34	19	78	98

所員 小山内一翔



いつも当SSSをご利用いただき誠にありがとうございます。組合員の皆様、平素、携行缶へのガソリンの販売記録にご協力いただきありがとうございます。

● JASSの日

毎月第2金曜日は、JASSの日キャンペーンを行っております。2000円以上の給油した方が対象で、1月13日(金)の景品はネピア プレミアムトイレトロールです。お客様の来店を心よりお待ちしております。



JASSの日 次回景品はコレ!

寒い季節になり、灯油の消費が多くなってきました。そこで

で、灯油水抜剤の紹介をさせていただきます。



1L
1,100円
(税込)

ホームタンク内の気温と外気の気温差で結露した水が溜まったり雨水が入ったり、どうしても水が入ってしまう場合があります。

そのままにしておくとも内部の水が凍って灯油が流れなくなったりストーブやボイラーの故障に繋がったりします。

そこで、灯油水抜剤を入れることでタンク内に溜まった水分を燃料に混合し燃料と一緒に燃焼させることで凍結防止・錆防止・水分除去を行うことができます。

是非とも、お買い求めください。

12・1月 イベント情報

JA^{SS}

日	月	火	水	木	金	土
18	19	20 ポイント3倍 灯油の日	21	22 特売日	23	24
25	26	27 ポイント3倍	28	29 特売日	30 灯油の日	31
1	2	3 ポイント3倍	4	5 特売日	6	7
8	9	10 ポイント3倍 灯油の日	11	12 特売日	13 JASSの日	14
15	16	17 ポイント3倍	18	19 特売日	20 灯油の日	21
22	23	24 ポイント3倍	25	26 特売日	27	28
29	30 灯油の日	31 ポイント3倍				

お知らせ

- セルフ洗車 700円以上で燃料2円引きレシート!
- 10・20・30日は灯油の日。店頭で購入すると2円お得です。配達ですとサービスになりませんので、灯油の日はぜひご来店下さい。

※都合により特売日が変更になることもあります。

会員ポイントを貯めて景品をGET!

会員の方は、ハイオク/レギュラー/軽油/灯油1Lに付き1ポイント貯まります! 300ポイント貯めて以下の景品と交換できます。

- 箱ティッシュ
- トイレトロールペーパー
- 林檎の森商品券

11月12日、県庁農林水産部構造政策課主催の初心者向けりんご作業体験会が当JA管内にて開催され2名が参加した。

受入れをした成田達也さんは「こちらは初心者大歓迎！ またいつでも畑に来てください」と笑顔で話し、始めは硬い表情だった参加者らも、作業と交流を通じて打ち解けた様子で言葉を交わしていた。

その場で割ったサンふじに蜜がたっぷり入っている様子に、県庁同課松坂彩佳さんは「青く見えた実にもこれだけ蜜があるなんて感動した。お土産でいただいたりんごを食べるのが楽しみ」と笑った。



休憩中、
りんご作業について語る初心者ら

11月23日から12月5日までの全6日間、青年部は紙漕沢ライスセンター前にてクロナコヤマトの集荷サービスを行った。

この取組みは3年目を迎え、昨年の件数大幅増に比べ今年の伸びは穏やか。

雪が降り出す天気の中、当事業の発起人である溝江翼理事は「もう少し増えると思ったが荷受け数量は微増。しかし喜びの声が聞けることがなにより嬉しい」と話した。利用者は「毎年たくさん送るので安くなり助かる。来年もぜひやってほしい」と笑顔で話した。



荷受・会計・運搬まで請け負う
頼もしい青年部メンバー

EXILE USAさんが、月刊誌『地上』の取材で津軽地域を訪れた。農作業から着想を得たダンスで子ども達と楽しく豆まきをしたり、国連WFPサポーターとして飢餓のない世界の実現に向けて活動したりと、精力的に活躍されている。

県JA青年部理事の成田祐介さんと当JA職員三上司さんによるライスセンター施設案内に、時折質問をはさみながら見学。

食の安全を第一優先と捉え9月に竣工した新ライスセンター。青年部・職員一同、誇らしい気持ちでご紹介できたことは、産地にとっても重要なことである。



青年部役員とEXILE USAさん
食に対する思いは同じ



<http://www.ienohikari.net/press/chijo/>



JA相馬村ライスセンターをEXILE USAさんが訪れた内容は、農業青年向け月刊誌『地上』3月号(税込618円)掲載予定!

ご購入希望の方は農業振興課 石田まで

topics

選果基準をレクチャー

04



フルーツステーションで
選果に理解を深める参加者ら

11月28日、JA青森中央会主催の新任JA職員・新規就農者向け『栽培技術現地研修会』が開催され、第5回目となる今回のテーマ山選果・選果場を学ぼうと、受講者らが当JAを訪れた。

振興課齊藤指導員は、山選果基準の説明だけでなく、その情報を組合員が活用しやすいよう、テレグラムに見本の写真を掲載することで、現場でもスマートフォンさえあれば自分で確認ができる仕組みを作っていることなどを説明。その後のフルーツステーションの施設見学でも、参加者は理解を深めていた。

topics

リンゴの盛り上がり
をPR

05



キレイな三日月金星に驚くとともに
直売所の魅力を再認識するRABアナウンサーら

11月30日、夕方のニュース番組『RABニュースリーダーミチ』内のふるトクコーナーにて、振興課石田有希子さんが直売所で開催中であったりんご祭りの話題を紹介した。晩生種中心の品揃えや、味わいの違い、また梱包・発送作業もスタッフで行う体制についてアピール。RAB中村香音アナウンサーは「三日月金星は初めて見たが、食べてみたい」と話し、県産リンゴの美味しさが全国に伝わるようエールを送った。

topics

冬の準備応援します！

06



売場には替刃や塗布剤がズラリ！
ご来協お待ちしております。

12月1日から3月31日まで、各支所購買では剪定用品を5%オフで販売しております。鋸、替刃、塗布剤など、この機会にぜひご利用下さい。

また、湯口購買課には各種防寒靴も取り揃えております。例年好評の長靴に加えて、少しのお出掛けにも使いやすいシヨート丈のスノーブーツも新しく品揃え致しました。軽い作業後にお出掛けする日などにお勧めです。

組合員のみならず、冬の時期もぜひお気軽に購買課へお立ち寄りください。

topics

全国へ羽ばたく
和紙へ

plus



りんご剪定枝パルプ配合の
表彰状サンプル

年明けに八戸にて開催される国体の表彰状に、紙漉沢の紙漉の里で漉いた和紙が使われる。

11月28日、弘前大学研究・イノベーション推進機構UR A室 山科則之特任助教ら3名が、りんご剪定枝をパルプ化した原料を配合した和紙制作を行った。

国体の表彰状は毎年、開催地産の和紙で作られているが、青森県は和紙処がない。唯一手漉き和紙の作れる『紙漉の里』で、試作が2年前より続けられてきた当事業に白羽の矢が立った。「ご当地縁の和紙により、地元の魅力を発信したい」と山科先生は意気込んだ。

JA TOPICS
+Plus

青年部通信

事務局 佐々木善久



青年部では、11月28日に、もち米の袋詰めを行いました。部員らは、もち米の量を計る班とパッキング班に分かれ、流れ作業で効率よく進めていきました。

今年産の収量は、590キロとなり、昨年比2割減となりましたが、ご予約数は約4倍に増加し、全部で155キロ、19名の方にお届け致しました。ご予約ありがとうございました。



販売に向けてみんなで袋詰め



袋詰めされた、【青年部米】

うございました。

また、事前に用意していた袋の数が足りないことが途中で分かり、事務局が買いに走る場面も…

これにより約30分のタイムロス！ せっかく効率よく進んでいた作業に思わぬ休憩時間を作ってしまったしました。反省は来年の事業に活かします！

もち米は12月1日より直売所林檎の森にて販売しております。なにより次第終了となりますので、

ぜひお早めにお買い求めください。

12月1日、第47回青森県JA青年大会が行われました。そこで、私たち青年部は、「活動実績」について発表をしてみました。発表者の林崎樹さんは、青年部が行っている「もち米事業」をテーマにこれまでの歩み、これからの青年部活動への意気込みを熱く発表していました。

結果は、最優秀賞に選ばれ、来月の1月に行われる北海道・東北ブロック大会に青森県の代表として参加することになりました。全国大会を目指しますので、みなさん応援お願いします！

祝!! JA相馬村青年部



この度、相馬村青年部の代表として発表を務めました林崎樹です。大勢の前での発表は、初めてで、たくさんの方々に支えられながら無事発表を終えることができました。今後は、東北大会も控えているので、さらにいい発表になるように練習していきたいと思ます。



JA相馬村青年部の活動実績について熱く発表

県税納税証明書の交付申請について

官公庁の入札参加資格審査申請、建設業許可申請、所得税確定申告、金融機関の融資申込みなどのため、県税（法人県民税・法人事業税・特別法人事業税又は地方法人特別税、個人事業税など）の納税額又は未納額がないことの証明書が必要な方は、次の書類等をご準備の上、交付申請してください。（納税して間もない時は、領収証書をご提示ください。）

○ 本人申請の場合

- ① 申請書（県税部窓口にあります。また、県ホームページからダウンロードできます。）
- ② 本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカードなど顔写真付きの公的書類等）
- ③ 手数料（1件につき青森県収入証紙400円）

○ 代理人申請の場合

前記①と③のほか、

- ④ 委任状
・あらかじめ申請用紙の所定の委任欄に納税義務者本人（法人の場合は代表者）が自署するか、納税義務者本人（法人の場合は代表者）が自署した委任状をご提出ください。
- ⑤ 代理人の本人確認書類
（運転免許証、マイナンバーカードなど顔写真付きの公的書類等）

納税証明書は、納税者の皆様の大切な情報を証明するものですので、窓口での本人確認を厳正に行わせていただいております。ご理解とご協力をお願いします。

お問合せ先

中南地域県民局県税部 納税管理課

TEL 0172-32-1131（内線 229・211）

直売所「林檎の森」

サブリーダー 児玉 広樹



いつも直売所「林檎の森」をご利用頂きありがとうございます。12月に入りようやく雪が降り始め、いよいよ冬本番となってきました。今年はコロナウイルスとインフルエンザの同時流行の恐れもあるそうなので、体調管理には十分に注意してお過ごし下さい。

さて、11月12日(土)より開催していましたが、天候にも恵まれ暖かい日が多く、連日県内外から大勢のお客様にご来場頂き、大変賑わいをみせていました。今年は昨年の反省を踏まえ、祭り期間を早め、人員と台車の台数も増やしたところあまり混雑することなく、お客様に満足のいく販売が出来たと思います。りんご祭りにご協力頂いた皆様には改めてお礼申し上げます。

また、会員の皆様につきましても忙しい最中たくさんりんごを出荷して頂き、大変ありがとうございます。

来年度のりんご祭りの際も、またご協力頂ければ幸いです。

令和4年も残り僅かとなり年末のご挨拶をさせて頂く時期となりました。皆様には本年も格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。来年もさらなるサービスの向上を目指し、スタッフ一同より一層の努力をしておりますので、変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

なお、誠に勝手ながら年内の営業は12月30日(金)までとさせて頂き、12月31日(土)～1月3日(火)まで休業させて頂きます。年始は1月4日(水)からの営業となり営業時間が9時～17時となります。(※会員の搬入時間は8時45分からとなります。)



1. 売場にあふれんばかりのりんごは種類も様々
2. のし付きお歳暮にも対応
3. 多くのお客様で賑わうりんご祭り会場
4. 真っ赤で美味しそうなサンふじ
5. 受け取ったお客様の笑顔が浮かぶ
6. キレイな三日月金星





1. マンションのリノベーション



2. 新築住宅

3. 新築住宅



4. キッズスペース付シェアオフィス

5. 相馬でエビ釣り

6. 近場でキャンプ

7. 息子さん達と地元食材を料理したランチの様子



笑顔が素敵な美穂さん



1



4



3



2

らくらすDESIGN 一級建築士事務所 (<https://rakurasu-design.com>)



「自宅は緑が豊富で、アウトドアをしに行く場所というイメージです。ロマンチックなエビ釣りの堀にも行きますよ」
震災後には出身地の釜石と東京の二拠点生活をしながら、復興後を見据えて町の強みを作ることに

今回は、弘前市街地にて一級建築士事務所を営む佐藤美穂さん。岩手県釜石市出身で、関東にて大学院まで建築の勉強をし、建築設計事務所で4〜5年の経験を積んで独立。ご主人の転職に合わせて関東圏と弘前にて資格を生かして仕事をしてきた。

「自宅は和徳にありますが、散歩していると挨拶や会話をしてくれる方が多く、子どもへの地域の目が優しいです。休日は家族でアウトドアに出掛けますが、近場で遊べる場所が多いところが魅力です。都内在住の友人は2〜3時間かけてキャンプ場まで行くのに対して、弘前の場合は20分で行けちゃいます！」



農業振興課 石田有希子

「小さい頃、周りに何もなかったのが理由かも知れません。自分で工夫して遊ぶことを覚え、大人になっただけのことやりました」というモチベーションに繋がった気がします」

「結局、長い時間を過ごすしかないと思います。新しく来た人は、覚悟や続けていく姿を見せることが、地域に入っていく礼儀として必要なのではないしょうか。」
今は、積雪も地域の個性だと受け止めています。厳しい冬があるからこそ、春を迎える喜びはひとしお！「短い夏にはアクティブに動き回り、秋には実りを堪能する。四季を色濃く感じられる環境と、自然のリズムと人のリズムが一致している暮らしに豊かさを感じています。建築の設計やまちづくりの企画をする時にも、この地域ならではの魅力を引き出していきたいと考えながら取り組んでいます」

地域の思い出を形にしたお菓子作りや町歩きマップ作成など、協力者を見つけてながら邁進してきた。柔らかい雰囲気をお持ちの美穂さん。しかし精神的な人柄はどこから来ているのか



農協の役員室。組合長が青森の
農協中央会へ行くことが多く
なったから、その椅子に坐われ
ることもある。専務が黙認して
くれている。

油売りと放送局とオンベが入っ
てきた。オンベが、誰から聞いた
か、片仮名語をまじえながら語っ
ている。

オンベ「アグリビジネスとは農業
の関連産業ということだ」
油売り「関連産業？」

オンベ「農業であれば肥料や農薬
などの製造とか」

放送局「ほかにダンボールの業者
とか運送業者もあるべ！ 袋屋
も…」

オンベ「それを外国語では、リパー
カッションと言っただ。日本語に
直おせば波及効果と言っべきか。
渋川伝次郎様が盛んに言ったもの

だ。米作農業よりも、その輪が大
きい」と

油売り「この相馬…りんごが作ら
れる前は、目屋村などのように、
スミヤギ（木炭生産）で暮らして
いた所であつたべ？ 今のよう
に裕福な所になったのは、りんご
のおかげであるか…」

オンベ「南部竹館村…今の平川市
の南側の山手…明治時代の初期
までは、スミヤギで暮らしていた
所だそつだ。それが、相馬貞一と
いう産業組合長（農協の前身）
が、りんごを植えさせ、そのりん
ごを産業組合で共同販売し、ムラ
を豊かにしたのでそつだ。（旧竹
館村産業組合跡地に「共存同栄」
という石碑がある。竹館産業組合
は、大正時代、産業組合中央会か
ら特別表彰されている（東北で唯
一）」

寛容
その人
悪いのでなく
知らないのです
義信

編集部をつぶやき～編集後記～

先日、相馬小学校の学習発表会がありました。コロナ禍となつてから、1児童に対して保護者2名までの観覧が可能で、学年入れ替え制にて実施されています。他学年の、とりわけ卒業してしまう6年生の発表も見たい!と思いつつも、そこは我慢。このご時世、自分の子どもの発表が見られるだけで御の字です。

長女の学年は、テレビ番組「プラタモリ」のオマージュ「相馬さんぽ」という演目で、授業で学んだ相馬の歴史を楽しく説明する内容でした。最後は今年流行った日本ハムファイターズの『きつねダンス』を、リンゴに見立てた帽子、飛馬りんごジュースの缶を手にと、JA相馬村の青いリンゴ箱を前にして披露! わーすごい! 早速JA相馬村のインスタに! …いや、これは投稿できませんね(^ ^) そっと個人のコレクション動画にしました。

さて令和4年も広報誌「りんごの森」をお読みいただきありがとうございました。来年は更に組合員のみなさまに楽しんでいただけるよう、誌面作りに励みます。風邪や怪我にお気をつけて、良いお年をお迎えください。

yuki

理事会だより

11月21日(月)

- 1) 10月末残高試算表について
- 2) 組合員の脱退について
- 3) 退任理事に対する退任給与金の支払いについて
- 4) 当組合におけるリスク評価書の改正について
- 5) 監事監査規程の一部変更について
- 6) 教育・マイカーローン特別推進運動について
- 7) 貸付関係について
- 8) りんご販売関係について
- 9) ディスクロージャー誌の縦覧について

数独

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

出題●ニコリ

ルール

- (1) 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- (2) タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

	5			6				
		1						3
					7	8		
7	4				2			
6								5
			1				3	2
		5	3					
1						4		
				9			6	

答えは広報「林檎の森1月号」にて掲載いたします。

考え方

タテ列やヨコ列、3×3マスの各ブロックで、同じ数字が重複しないように数字を入れていくパズルです。計算は不要ですよ。例題で解き方を覚えましょう。右下のブロックには、まだ2が入っていないので、4つある空きマスのどれかが2になるはず。同じタテ列やヨコ列に2がない空きマスは、6のすぐ右のマスしかないなので、2の入る場所はここだと決められます。このように、確実に数字が決められる場所を、注意深く根気強く探していきましょう。

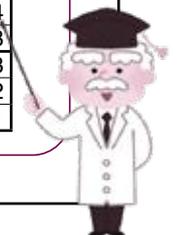
【例題】

7	2	9		5	8		6
1			3			4	
4	9			1	3		
	7	8		9	2		5
2			5			7	
6	3	7		4	1		
	1	4				5	3
3			1			6	
5	4	3		2	9	8	

【例題の答え】

3	7	2	9	4	5	8	1	6
8	1	6	2	3	7	5	4	9
4	9	5	6	8	1	3	2	7
1	4	7	8	6	9	2	3	5
9	2	8	1	5	3	6	7	4
6	5	3	7	2	4	1	9	8
2	8	1	4	9	6	7	5	3
7	3	9	5	1	8	4	6	2
5	6	4	3	7	2	9	8	1

11月号の答え A:ユ B:キ C:ア D:ソ E:ビ



表紙物語

11月21日、農林水産省の若手職員2名がJA相馬村を訪れ、フルーツステーションなどの施設見学と青年部との意見交換を行った。

農林水産省では、地域農業の実態の理解促進を目的に、55年前から研修に取り組んできた。2名は、農泊施設のある市内のりんご農家にて作業に従事し、19日間の研修の締めくくりとして当JAを訪れ、振興課齊藤指導員の案内のもと集荷や選果へ理解を深めた。

青年部との意見交換では、今後、農地を手放す方も増えてくる中で、農地を拡大するかという質問に「労働力次第だが、現状のままであれば拡大せず、今ある面積で収量増を目指すことで安定経営に繋がりたい」と話す部員が多かった。

同省職員は「収穫作業でハシゴから落ちそうになり、農作業の危険性について改めて認識した。実際に農家さんと交流できたのは今回が初めての機会なので、現場の声を聴けて大変参考になり、視野も広がった。今後の業務に活かしていきたい」と充実した研修を締めくくった。



青年部との意見交換で、実態に沿った話を聞く



海外出荷事情や青い段ボールについて理解を深める



「おいしい」とほころんだ表情



蜜入りの飛馬ふじに感動！

JA相馬村広報

りんごの森

2022.12 Vol.485

■ 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日
2022年12月15日

JA 相馬村概況

〈令和4年11月末日現在〉

組合員数	854人
（うち准組合員数	373人）
出資金	607,675千円
貯金額	10,674,129千円
共済保有高	3,081,503万円